

令和7年度後期(第4クォーター) 授業時間割表(人文学類 1～4年生)

(各クォーター共通)時間割表の見方・注意事項

- 各、大学年度のプログラム及びハンドブックを確認し、履修計画を立てること。
- 開講年度は変更となる場合がある。必ず履修希望者学部に所属する学生が「履修登録日」前までに以下のページ <https://jrinda.gakushu-u.ac.jp/csm/unstable/> を確認すること。
- コース・プログラムの詳細については、「共通」としては「専攻学科目（学部学科科目）、学部設置言語科目（学部言語科目）」「人文国際語教員免許取得講座科目（プログラム指定科目以外）」に掲載すること。
- （学部）G5言語G5科目：【基礎】人文文学専攻言語科目：【初級】人文文学国際語の教員免許取得講座科目（プログラム指定科目以外の科目で選択科目に計算入可）
- ①「前期課程」において、人文文学の時間割番号を先取扱いとする。前期と同時履修、前期と同時履修、同名または異なる科目の履修が又又は後学期で開講される場合はあるが、人文文学とは前期開講番号が異なるので注意すること。他学部の時間割番号で履修しても人文文学部の専門科目を履修したことになるにはない。（※後期履修の場合は履修年次が異なる。）
- ②「後期課程」において、人文文学の時間割番号を先取扱いとする。後期と同時履修、後期と同時履修、同名または異なる科目の履修が又又は後学期で開講される場合はあるが、人文文学とは後期開講番号が異なるので注意すること。他学部の時間割番号で履修しても人文文学部の専門科目を履修したことになるにはない。（※後期履修の場合は履修年次が異なる。）
- ③「教養」欄について、基本的には「Q1-Q4（1-4）のいずれかで履修」。前期・後期の半数は「Q1+Q2」又は「Q3+Q4」で履修可能な科目であることとする。前期で履修する科目目は、前期①、後期②の履修登録期間中の登録が可能のため、十分注意すること。
- ④「教養」欄について、基本的には人間社会科第1課義及び人文学部1号2号・2号後の履修科目とする。（研究は教育文化学部）。「共同人間研究室」、「美」は各コースの実験室又は実習室。「人」は人間社会3号組。「人」は人間社会5号組。「総」は総合教育講義棟。「J」は学術メディア創成センターを示す。
- ⑤「英」は英語履修プログラム（英語文化学）に対する科目（外国語コミュニケーション科目と称しくなく、英語履修文化学）に登録する科目であり履修科目外の実践も可能である。
- 科目名の前の（E）は媒体制作であることを示す。（EMIM科目）はプログラムで定められた単位数を卒業までに修得する必要があり、適用年度として人文文学年度を示す。

[illegible]

[illegible]

	科目	時間割番番	担当教員	単位数	学年	期	開講形式	開講日程・その他
共通	1学域(文・ гуманитар・サイエンス)人文学専攻の「言語・文化」分野の基礎的知識・技能の習得を目的とする。1学域(文・ гуманитар・サイエンス)人文学専攻の「言語・文化」分野の基礎的知識・技能の習得を目的とする。	100800.001	岩崎純子	1	1-3	2021	Q	2月16日(水)・5月・2月17日(水)・3月
		100801.001	岩崎純子	1	1-3	2021	Q	2月17日(木)・5月・2月18日(水)・3月
心理	産業・組織心理学A	42661	中村浩志香	1	2-3	2021	Q	2月18日(木)・5月・2月19日(木)・3月
	産業・組織心理学B	42662	中村浩志香	1	2-3	2021	Q	2月19日(木)・4月・6月・2月20日(金)・3月
考古	比較文化学実習(全5回)	41847	佐々木 水野	0.5/1	3-4	2016	Q	発達障害と集中講義形式で開講。集中講義の日程は授業の日に併設すること。
	文化遺産学実習(全5回)	41856	岩崎純子・西原智久	0.5/1	3-4	2016	Q	本講義は集中講義形式で開講。集中講義の日程は授業の日に併設すること。
教養	文法学実習(全5回)	42710	岩崎純子・西原智久	1/2	2-4	2020	Q	担当教員からの連絡等に注意し履修すること。
	英語実習(全4回+3回)	42714	岩崎純子・西原智久	1/2	2-4	2020	Q	担当教員からの連絡等に注意し履修すること。
教養	実用英会話文化実習1・A2	42556-52557	佐々木 水野	各1	2-4	2018	Q	発達障害と集中講義形式で開講。集中講義の日程は授業の日に併設すること。
							Q	発達障害と集中講義形式で開講。集中講義の日程は授業の日に併設すること。

その他	共通	科目	時間番号	担当教員	単位	学年	履修年次	履修年次	教室	その他
		卒業論文	—	各専攻専任教員	6	4	2008—	必修—	—	2026年3月卒業予定者は33.0%の履修希望期間に必ず履修必修
		インターンシップ(後期)	—	田中・小林・菅原	2	2-4	—	—	—	第3クォーターの履修希望期間中に履修登録すること。6月末までに履修申請書を出して事前指導を受けた者のみ履修可能
		異文化体験実習(海外/LI)	—	吉市・堀田・山口(山)	—	2-4	—	—	—	学生が一定期間海外に出発した短期の語学研修の成果を単位として認めるもの。人間社会学域学生の履修可。シラバスや指示で案内されたガイダンスに必ず出席すること。

■2年生の「学域GS言語科目Ⅱ」のクラス分けについて

「学域GS言語科目Ⅱ」については、原則として以下のおより履修すること。

科目	時間割番号	教員	曜日	時間	履修対象のプログラム名
学域GS言語科目Ⅱ	10201.101	アンソニー・シンチン	月	1	現代社会・人間学
学域GS言語科目Ⅱ	10201.102	アンソニー・シンチン	木	1	日本・中国言語文化学、欧米言語文化学
学域GS言語科目Ⅱ	10201.103	アンソニー・シンチン	木	5	心理学、言語科学
学域GS言語科目Ⅱ	10201.104	アンソニー・シンチン	金	5	考古学・文化資源学、歴史学